

自然遊び場事業補助金活動 最終報告

【(株)かまいし DMC 根浜シーサイド】

2023年3月31日

<<備考>>

感染症の影響により、感染者数が増加した年度前半は開催を控えつつ、様子を見ながら開催企画をしました。コロナ禍に加えて、ロタウイルスなどの影響もあり、なかなか予定通りの開催ができませんでしたが、限られた開催日と内容の中で、当日は感染症対策を行い、参加者にも感染症対策をご協力いただきながら実施しました。

【6月11日「自然とアートであそぼう！～マリオとはるちゃんと風の楽器作り～】

親子ら18名が参加し、根浜シーサイドキャンプ場で開催。釜石とご縁があり、自然を愛するアーティストである“マリオとはるちゃん”を先生にお迎えし、「風の楽器」を地域の木材を使って手作りし、キャンプ場や根浜海岸でマイ楽器をみんなで演奏しました。木材という身近な地域の資源にふれ、自然豊かな海辺のキャンプ場の魅力を存分に感じながら、からだいっぱい使って楽しそうに演奏する姿が見られました。



【11月12日 身の回りの植物で染め物をしよう～セイタカアワダチソウで染色～】

親子ら12名が参加し、根浜シーサイド・レストハウスで開催。釜石市で自然子ども教育に取り組んできた柏崎未来さんを講師にお迎えしました。

まず黄色く美しいセイタカアワダチソウを自分たちで切って集めることからスタート。それを煮込んだ鍋に手ぬぐいを浸し、しばらくすると、黄色く美しく染め上がったオリジナル手ぬぐいができあがりました。子どもも大人も楽しく作業し、出来上がった手作り手ぬぐいをうれしそうに見つめていました。

セイタカアワダチソウは外来植物で、じゃまもの扱いされているものの、駆除は追い付いていない状態です。植物や環境に広く興味をもってもらい、活用しながら楽しく考えてもらうよい機会にもなりました。



【2月12日 雪あそび DAY!】

親子やボランティア含む29名が参加し、橋野・青の木で雪あそびイベントを開催。今年は雪が少ないとのことでしたが、幸運にも前日に良質な雪が降り、当日は大いに雪遊びを楽しめる環境が整いました。

三陸駒舎の秋本さんといくみさんを講師に、親御さんやボランティアみんなで見守りながら、雪遊びをたのしみました。雪合戦や、そび滑り、色水のかき氷作り、特大の雪だるまづくり…と、未就学児から小学生まで、さまざまな遊びが生まれました。

特徴的だったのが、大人数がいることで「団体ならではの流れ」がよい影響を与えたこと。「できなかったけれど、できるお友達の姿をみてチャレンジする子」の姿が見られたり、みんなで力を合わせて巨大な雪だるまを作ったり…と、終始笑顔でのびのびと遊ぶ姿が見られました。釜石の冬の山の魅力を大いに感じたすばらしい時間でした。また、峠の茶屋の静子おばあちゃんが見守ってくださり、地域交流ができたこともよかったですと思います。



【3月29日 焚き火&どうぶつとふれあってあそぼう】

親子3組8名が参加。26日に予定していましたが、雨と寒さで延期し29日昼～に開催となりました。

三陸駒舎さんで、焚き火では、火起こしをして棒パンを作って食べたり、馬舎で実際に馬にさわって少しお世話をさせてもらったり、普段なかなか会うことのできないどうぶつたちとゆっくり向き合い、ふれあう時間を過ごすことができました。

屋外だけでなく室内でもさまざまな遊具を使って、思いっきり楽しそうに子どもたちが体を動かしてあそびました。講師に佐々木えりさんをお呼びし、大人もハーブティのお茶っこの効能などを聞きながら、ゆったりおしゃべりも楽しみながら、参加者同士親睦を深めました。「焚き火をやらせたいが、普段はできる機会がなかったので、本当によかった」「どうぶつとふれあうことがほとんどないので、癒されるようだった」「動物とふれあった後、子どもの目がきらきらとしてうれしそうだった」など、また行いたい内容の声がかれました。



以上